



各 位

2019年8月2日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 山口 貢
 (コード番号 5406)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長
 本田 和幸
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期の1株当たり配当予想について、本日の取締役会において、下記のとおりとすることを決議しましたのでお知らせいたします。

記

● 連結業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,010,000	5,000	0	0	0.00
今回発表予想(B)	980,000	0	△ 10,000	0	0.00
増減額(B-A)	△ 30,000	△ 5,000	△ 10,000	0	
増減率(%)	△ 3.0%	△ 100.0%	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	958,239	23,131	9,345	33,399	92.19

2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,070,000	45,000	30,000	25,000	69.00
今回発表予想(B)	2,000,000	25,000	10,000	10,000	27.60
増減額(B-A)	△ 70,000	△ 20,000	△ 20,000	△ 15,000	
増減率(%)	△ 3.4%	△ 44.4%	△ 66.7%	△ 60.0%	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	1,971,869	48,282	34,629	35,940	99.20

修正の理由

前回(2019年5月15日)業績予想時と比較すると、保護主義的な通商政策の影響が顕在化しつつあります。

このような中、鉄鋼での製品構成の悪化や、アルミ・銅において半導体・IT 分野向けや海外の自動車向けの販売数量の減少、及び関係会社における設備トラブル等を起因とした生産性悪化影響が見込まれます。また、建設機械において油圧ショベルの販売台数が、中国を中心に減少することが見込まれることなどから、第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、及び通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について予想を下方修正しております。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月15日発表)	円 銭 —				
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	10.00	—	10.00	20.00

修正の理由

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、今回見直した業績予想を踏まえ、誠に遺憾ながら見送る方針を決議いたしました。

なお、期末配当につきましては、予想額を未定としております。

(注) 上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上